



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2023/07/26

中国が原発処理水放出に難くせをつける本当の理由

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今日皆さんにお伝えしたいのは、福島から戻ったということもあるのですが、福島第一原発で冷却水として使われている、あの処理水の海洋放出の問題についてです。

菅元総理の時に決定された、私はこれは英断だと考えているんですけど、処理水を海に放出することについて、国際原子力機関 IAEA の事務局長グロシ氏がわざわざ日本に来て、調査結果のレポートを記者会見で語っています。IAEA の査察官たちがこの処理水を検査して、これは安全だということをレポートした、そのレポートを公開したんですね。

どれくらい安全かというと、原発を持っている国はどこでも海洋放出をしているんですが、特に日本の基準は世界で一番厳しいんです。その世界一厳しい国内基準の 1/40 に希釈するんですよ。これは世界保健機関 WHO の、“飲料水の中に入っても大丈夫” という基準の 1/7 以下ですよ。その薄さに希釈した上で海に放出するんです。

海に放出されたらどうなりますか。海水でもっと薄まるんですよ。なので IAEA は「これは人や環境への影響を無視できる」と報告書で言い、記者会見しただけではなく、グロシ氏は韓国に立ち寄ったんです。韓国政府に「我々が査察した結果、日本が放出する処理水は安全だ」と、わざわざ説得しに行ってくれたんですね。韓国政府はもちろんそれを受け入れました。

というのは、IAEA の査察とは別に、韓国政府が派遣した調査員たちが独自の調査をしたんです。その結果も「これは国際基準をはるかに、十分にクリアしている。」その報告書を持っているので公開したんですね。安全性を強調する立場を取ったんです。まあ当然ですよ。科学的データで見ると、世界の原発から放出されている、どの処理水よりも低濃度なんですね

ところが、これに物言いを付けている国が一つだけあるんです。中国ですよ。中国外務省の報道官は「IAEA の報告書は、処理水放出の通行証にはならない！」それから、王毅（おう き）とかいう人は「日本という国は、海を自分の国の下水道と思っているのか。そんなに安全なら飲んでみろ！」とまで言うのです。これ、ハッキリ言って異常です。

中国の秦山（しんざん）原子力発電所からも処理水が放出されていますが、今回の福島原発の 6.5 倍の濃度なんですよ。トリチウムが。陽江（ようこう）原発は福島原発の 5 倍。紅沿河（こうえんが）原発は 4 倍の濃度なんですよ。日本よりもはるかに高濃度のものを出しているながら、どの口が言うんだと。

IAEA が科学的に行った安全性の検証を頭から否定し、非論理的な物言いをして、そして、「もし日本が海洋放出をやってしまったら、中国は何らかの報復を行う可能性がある」と示唆しているんです。つまり脅してるんです。世界ルールに則っていることをしていても脅す。普通のことをしているのに脅す。これは、やくざ者と一緒じゃないですか。

ここに来て、なぜ中国政府は日本に対してそんなにカリカリし、脅しに掛かることをしているのでしょうか。理由は別にあるんです。処理水の濃度が理由じゃないんです。それは、7月23日が来てしまったということなんですよ。

日本は7月23日から中国に対する半導体規制を始めることになっていて、そして始めたんです。だって23日はもう過ぎてますから。日本は中国に対する半導体規制を粛々に行っている。これがどれだけ凄いことなのかを分かっていたかのために、今日は半導体の問題についてお話ししたいんですよ。

昔は戦略物資というと石油でしたでしょ。オイルショックの時「石油がないと経済がダメになる」と、なったじゃないですか。日本は“アブラ外交・アラブ外交”とか言って、首相がアラブ世界まで行脚したわけですね。しかし今や、石油に勝る産業の戦略物資は半導体ですよ。

去年新車を買った方、私もリースですが新しい車に替えたんです。納期1年掛かるんですよ。なんで車の納期に1年掛かるのか。今の車はスマートカーと言って、走るコンピューターなんです。自動車の中に半導体がたくさん組み込まれていますが、その高性能の半導体を作っているのが台湾の半導体製造メーカーのTSMC。そこに世界中からあまりにも注文が来て、出すことができなくなったんです。

半導体がなくなったら車を造れないだけでなく、パソコン作れない。スマートフォン作れない。医療器具造れない。家電製品造れない。半導体がなくなったら、今の文明社会は崩壊します。半導体こそが、今や世界の戦略物資と言っていいんでしょうが、この半導体を作れる会社は世界に2つしかないんですね。特に抜きん出ているのがTSMCです。

半導体が不足すると、決定的にダメージを受けるジャンルがもう1つあります。それは軍事物資。様々なハイテク兵器の中には、多くの半導体が組み込まれてます。

米中冷戦でアメリカは中国の脅威を抑え込むために、中国の半導体製造を壊滅させたら良いと考えたんですね。そして、昨年2022年10月7日におっそろべき決定をしました。半導体業界の人たちは、この内容があまりにも厳しく、徹底したものなので、10月7日を取って“10.7規制”と呼んでるそうです。これは、中国の半導体産業を壊滅させるための規制です。

半導体はどうやって作るのか簡単に言います。

第1工程▶シリコンウエハー（ウエハーは薄い板のことです）という、シリコンの単結晶の板の上に薄い膜を置く。

第2工程▶その薄い膜の上にレジストという、光に反応して固まる感光物質を塗る。

第3工程▶感光物質の上に半導体の設計図を転写する。感光物質なので露光装置で光を照射すると、設計図面とおりの姿が写真に撮るように焼き付けられます。

シリコンの上に薄い膜を張る技術は、アメリカがほぼ独占しています。

薄い膜の上に感光物質を塗る技術と物質は、ほぼ日本が独占しています。

東京エレクトロンがこの感光物質を作っているんですね。

感光物質の上に設計図を焼き込む露光装置は、ほぼオランダが独占しています。

去年10月7日にアメリカが決定したのは、シリコンウエハーの上に薄い膜を張る技術とその装置を、中国に一切売らないということなんですね。

半導体製造の第1工程は、川で言うなら一番上流です。

最上流にダムを造って堰き止めたら流れ込めない。その後はもう作れないですよ。

更に念には念を入れよ。第2工程を独占している日本と、第3工程を独占しているオランダに対しても「中国封じ込めのために協力してくれ！」それで、日本とオランダは協力している。

つまり第1・第2・第3工程の全部が、中国に対して一切輸出できなくなってるんですね。そして、実際にできなくなった日が7月23日なんです。

7月23日になった途端、中国は半導体製造装置を一切手に入れることができないんです。

「でも7月23日まで、中国国内にある半導体製造装置は動いてるんじゃないの？」そうですよ。そこで、アメリカは「半導体製造装置の消耗品についても、一切売ってはならない」と決定し、同時に、メンテナンスマンが中国の半導体製造装置を触ることもアウトなんです。禁止したんです。

大体10万枚くらいのシリコンウエハーを作る半導体工場では、レジストリーの半導体製造装置が1000台くらい稼働してるんですが、非常に精密な装置なので頻りにメンテナンスが必要なんですね。

ところが、消耗品も手に入らない。メンテナンスサービスも受けることができない。技術的サポートが一切なくなってしまうたら、徐々に徐々に動かない機械ばかりになって来るんですよ。最終的には全部止まります。

つまり、この10.7規制は中国の半導体産業を壊滅させるための、息の根を止めるためにアメリカが放った、目に見えない弾道ミサイルみたいなものです。

7月23日。日本もこれに参加しました。中国はこれを何とか撤回させたい。

だから、あの手この手で日本を揺さぶってるわけですよ。

昭和16年12月8日、日本は真珠湾攻撃をやりました。

昭和 16 年 8 月 1 日に、アメリカが日本に石油を一切売らない、石油輸出を全面禁止したからです。当時、日本はアメリカからの石油輸入に 90%頼ってたんです。9 割の石油がピタッと止まったら、いくら戦艦大和があろうが、零戦があろうが、全部動かない。鉄の塊で終わってしまうんですね。やむにやまれぬ状態で大暴れしたんですが、それと似たようなことが今、起こりつつあります。

戦略物資である半導体が中国に一切入らない。
目と鼻の先には、世界最高峰の半導体工場がある。台湾の TSMC ですよ。
ここが中国の手に入ったら、いったいどんなことになるのでしょうか。

アメリカは「中国が台湾に上陸して TSMC の工場に近づく時は、工場全体を爆破してくれ」と頼んでるんです。これ、外国の民間企業なので命令権はないでしょう。しかし、そうするようにと強い圧力を掛けています。この話はまた別の時にしたいと思います。

要するに、7月23日以降、中国は息の根がグーッと締まって、いよいよ苦しくなり始めてるんですね。“台湾海峡波高し” なんですよ。
中台危機のリスク度がまた 1 つ上がったと言えると思います。

私たちは、“国際情勢というのは全部繋がっている” ことを忘れないようにしたい
と思います。これから東アジアは、いよいよ大変なことになっていきます。
ウクライナの問題と東アジアの問題は繋がってるんです。
この件については群馬で詳しく 100 分、1 部と 2 部に分けて講演しました。
いつか、ごうちゃんねるでご紹介できたらいいなと思っています。
時々刻々と世界は動いて行きますので、折に触れて、このチャンネルでお伝えしよう
と思います。

ところで、暑いですねえ。皆さん、お元気ですか。私はちょっと夏バテなんですけど、
でも、やります！神様の助けを受けて情報発信していきたいと思いますので、また
お付き合い下さい。
チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。
皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

.. 〇〇.. 〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇.. 〇〇..